

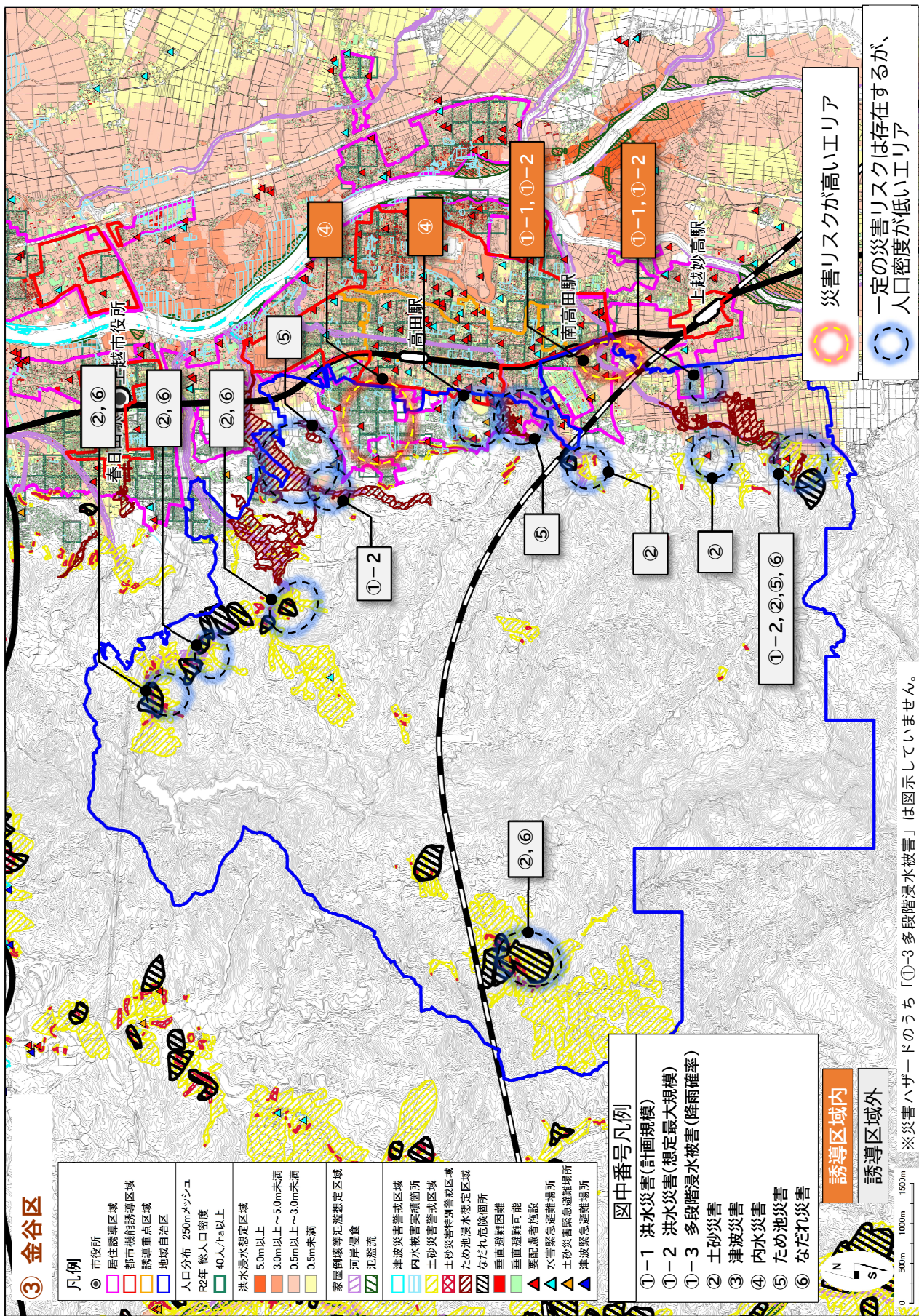


表 災害リスクの整理 (③金谷区)

災害ハザード	災害リスク	含まれる誘導区域(*)			
		居	都	重	外
①ー1 洪水災害 (計画規模)	区東南部の一部エリアにおいて洪水による浸水被害のおそれがあり、人口密度や高齢者人口割合が高く垂直避難が困難なエリアが見られ、エリア内に要配慮者施設も複数立地し災害リスクが存在する。	●	—	—	—
①ー2 洪水災害 (想定最大規模)	上記計画規模と同様のエリアにおいて災害リスクが存在する。 また、正善寺川、大瀬川、儀明川及び青田川沿いの集落部において家屋倒壊等氾濫想定区域に指定され、かつ高齢者人口割合が高く、災害リスクが存在する。	●	—	—	●
①ー3 多段階 浸水被害 (降雨確率)	国が管理する関川水系（関川及び保倉川）からの氾濫を想定した災害リスクは存在しない。	—	—	—	—
② 土砂災害	山間部の集落や区南東部の山際において、土砂災害警戒区域に指定され、かつ高齢者人口割合が高く、要配慮者施設や土砂災害緊急避難場所が立地するエリアがあり、災害リスクが存在する。	—	—	—	●
③ 津波災害	災害リスクは存在しない。	—	—	—	—
④ 内水災害	高田駅西側エリアにおいて、一部内水浸水実績箇所が散見され、かつ高齢者人口割合が高いエリアがあり災害リスクが比較的高い。	●	—	—	—
⑤ ため池災害	ため池浸水想定区域において、一部高齢者人口割合が高いエリアがあり災害リスクを有する。	—	—	—	●
⑥ なだれ災害	土砂災害の災害リスクとほぼ同様のエリアにおいてなだれ災害のリスクが存在する。	—	—	—	●

(*) 居:居住誘導区域、都:都市機能誘導区域、重:誘導重点区域、外:誘導区域外、—:該当なし

【居住誘導区域内の災害リスクについて】

南高田駅西側における居住誘導区域において、洪水災害に関し浸水区域と人口密度、高齢者人口割合、要配慮者施設の立地の関係において災害リスクが高い。

また、高田駅に近い住宅地において、一部内水浸水実績箇所と高齢者人口割合が高いエリアの重複が見られる。